

御殿堰 大黒天便り



◆第二三号◆

山形市中心市街を流れる御殿堰。その豊かな水の流れを見守っているのが私「御殿堰大黒天」です。



「大黒天便り」では、わたし大黒天が御殿堰の歴史・季節の話題・生活の知恵など『なるほど!』と思っていただけの内容をお伝えしていきたいと思っています。今回は第二三号です。

◆花笠祭◆

山形の夏の風物詩「花笠祭」。花笠祭は、毎年八月五日〜七日の開催となります。

十日町を出発し、文翔館迄をパレード。パレード途中に位置する水の町屋御殿堰では、「一休みの休憩スペース」としてお立ち寄りになる方が多いように見受けられます。

水の町屋御殿堰ではお買い物物の他、お食事・喫茶をご利用いただける店舗もございます。

今年の花笠祭もお天気に恵まれると良いですね。



◆七月のイベント◆

本格的な夏が近づいてきました。水の町屋御殿堰では、様々なイベントやサービスをご用意して皆様のご来街をお待ちしております。

イベント情報は「七日町御殿堰開発株式会社」のホームページにも掲載しております。そちらも併せてご覧くださいませ。

◆「街なか回遊べに街道」◆

日程：七月一日〜七月二二日

山形ホテル協会・山形市が主催する「街なか回遊べに街道」イベント期間中、水の町屋七日町御殿堰の各店舗では様々なメニューを提供させていただきます。

【そば処庄司屋】

紅花切り

一〇五〇円

【クラシックカフェ】

紅花のアイスクリーム 三八〇円

【布四季庵】

紅花&シルクのアイス 三五〇円

※詳細は御殿堰各店舗にて配布のパンフレットをご覧ください。

◆「オリジナル吊るし雛」夏飾り◆

日程：七月一日〜八月三十一日

場所：水の町屋御殿堰一階軒下

時間：一〇時〜一九時

夏の吊るし飾りは、夏をテーマに身近な物・植物をモチーフに作成。

昨年展示した際の一番人気は「花笠ペロリン」でした。



◆ナイトバザール開催◆

日程：七月七日(土)

七月七日、毎年恒例のナイトバザールが開催されます。

- ・七日町商店街では、
- ・各店の営業時間を延長
- ・周辺駐車場二時間無料
- ・中心街百円循環バス運行時間延長
- ・五時間無料運行(一六時〜二一時)
- ・ナイトイベント託児
- ・子育てランドあぐべ(九時〜二〇時)

各店舗で当日限定サービスもありま

ご家族皆様で、是非ご来街ください。

◆七日クラフトナイト◆

日程：七月七日(土)

ナイトバザール開催日に、「ほっとなる広場公園」では「七日町クラフトナイト」が開催されます。

【時間】一〜二時

【場所】ほっとなる広場公園

【内容】ハンドメイド品の展示販売

◆「打ち水イベント」◆

日程：七月二五日(水)

一九三三年一五時、山形市で観測した四〇・八度という最高気温は二〇〇七年まで日本一の記録でした。日本一の暑さにちなんで、中心市街地では最高気温を記録した七月二五日一五時打ち水をして涼を楽しむイベントを行っています。当日は、御殿堰から大きな柄杓で水を汲みとり、歩道に打ち水をする事で「涼しさ」を提供致します。



山形あれこれ ⑱ 職人町 その三

幕末になると桶町には魚屋が進出するようになった。最上川から運ばれてきた干物や塩魚販売に対抗し、仙台方面から背負子が運ぶ生魚を中心に売ること大繁盛したと言う。水産物を扱う店では手桶・樽などが利用されたので桶職人と共存できたと考えられる。

桶屋職人が作ったものは手桶・半切・げんば桶・おかもち・酒樽・角樽・大酒造樽など。明治以降は風呂桶が大量に作られた。大きなものが入り出して賑やかな職人町だった。

小物づくり職人は隣の曲職人と対抗し、最終的には明治初期の株仲間禁止令によって松物職人は分散させられ衰え、桶町が更に発展した。

塗師町は、義光公時代に職人町として築いた町だが、比較的面積が少なかった。

山形城下では、十日町の長門屋が漆塗り産業の中心で、職人町の塗師たちは城内に納める塗り箸の他、時絵をつくる職人もいた。時代の流れに沿って仏壇の塗師に変わり、山形仏壇を発展させた。

山形仏壇は、約二五〇年前に、江戸から木彫り彫刻の技術を学び、盆地である山形は、もともと漆工業が栄えていたこともあり時絵師、金工鋳職人が統合して仏壇産業が始まったとされている。

明治時代には、木地、宮殿彫刻、金具、塗蒔絵、箔押し仕組の七分業に分かれ量産されるようになった。

また、京都に匹敵する二重屋根入母屋造り空殿(御本尊が入る屋根)の技術によって、華やかさと繊細さを増している。

桶町

塗師町

材木町

得物町

次号の発行は八月七日です。来月も皆様と紙面でお会いできるのを楽しみにしています。